農業経営者の皆様へ！

自然災害に備えて農業版ＢＣＰを作成してみましょう！

BCP（事業継続計画）とは、自然災害などの緊急事態が発生した場合
人員、電気、水、資金等が足りなくなることが想定される中で、
どの仕事を**優先して続ける**か、**どうやって再開する**か、ということを**あらかじめ決めておく計画**のことです。

BCPは決して難しいものではなく、経験として既に備わっていることも少なくありません。
計画として文字に落とし込むことで、**従業員との共有**や、**普段の経営の見直し・改善**にも繋がります。

農林水産省では、**自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト**を作成しています。
チェックリストには**「リスクマネジメント」**と**「事業継続」**の２種類のシートがあり「事業継続」の項目ごとに必要な内容を記載すると、ご自身で**簡易的な農業版ＢＣＰ**が作成できます。

自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP
農林水産省

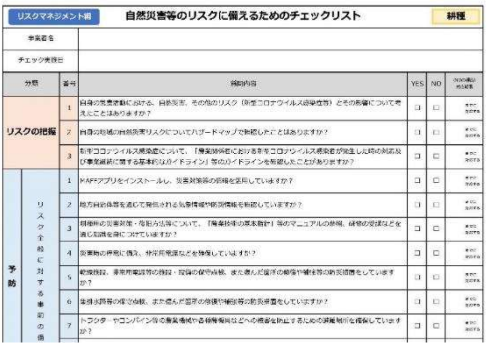
①　日頃からのリスクへの備え、台風等襲来の直前対策のために！

○チェックリスト「リスクマネジメント」

　自然災害等のリスクに対して、防災・減災の観点から備えておくべき項目についてチェックします。

（項目の例）

- ☐ MAFFアプリをインストールし、災害対策等の情報を活用していますか？
- ☐ トラクターやコンバイン等の農業機械を高台や屋内へ移動させましたか？


リスクマネジメント編　自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト　耕種

②　被災後の復旧・事業継続のために！

○チェックリスト「事業継続」

　被災後の事業継続の観点から、ヒト・モノ・カネ・セーフティーネット等、事前に想定しておくべき事項についてチェックします。

（項目の例）

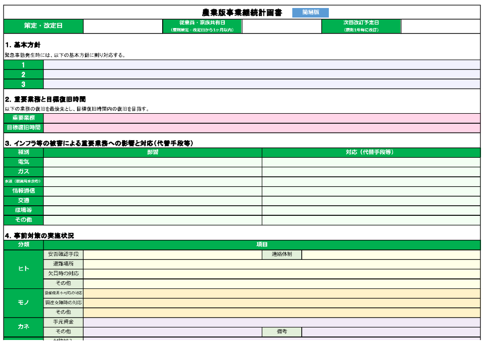
- ☐ 収入保険の補償内容を理解するとともに加入していますか？

事業継続編　自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト　耕種

○農業版ＢＣＰ（事業継続計画）

　チェックリストの各チェック項目に、ご自身の経営に合わせた具体的な内容を当てはめていくと、**農業版BCPが作成**されます。

（農林水産省ホームページに掲載しているEXCEL版のチェックリストを活用すると作成がスムーズです。）


農業版事業継続計画書

③　定期的・継続的な見直し

　農業版BCPを上手く機能させるため、少なくとも**年に１回**は**見直し**を行い、備えが十分か確認しましょう。

お問い合わせ先▶農林水産省担当課：経営局保険課（TEL：03-6744-7148）

裏面に「農業版ＢＣＰ」の様式があります。

農業版ＢＣＰを作成してみましょう！

農業版事業継続計画書　簡易版

策定・改定日		**従業員・家族共有日** （原則策定・改定日から1ヶ月以内）		**次回改訂予定日** （原則1年毎に改訂）	

1. 基本方針（「人命を守る」「農産物の供給責任を果たす」等、緊急時にあなたが最も優先することは何ですか？）

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	
2	
3	

2. 重要業務と目標復旧時間（「水やり」「搾乳」等、いち早く復旧しなければいけないことは何ですか？）

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	
目標復旧時間	

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応（代替手段等）（インフラが止まったときに対応できますか？）

種別	影響	対応（代替手段等）
電気		
ガス		
水道（農業用水含む）		
情報通信		
交通		
ほ場等		
その他		

4. 事前対策の実施状況（自然災害に備えて、普段からどんな対策ができますか？）

分類	項目			
ヒト	安否確認手段		連絡体制	
	避難場所			
	欠員時の対応			
	その他			
モノ	設備使用不可時の対応			
	調達支障時の対応			
	その他			
カネ	手元資金			
	その他		備考	
セーフティネット	保険加入			
	その他		備考	
情報	重要情報保管場所			
	PC等使用不可時の対応			
	その他			
地域連携				

5. 緊急時の体制

統括責任者（代理者）	事業継続担当責任者（代理者）

【初動対応フェーズ】（目安：緊急事態発生～24時間以内）

○状況確認

確認対象		担当者
役員・従業員	家族を含めた安否確認	
建物・設備	ITを含む状況	
その他事業資源	肥料・飼料・農薬等の在庫	
取引先	状況確認	
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況	
その他		

○備蓄品の状況

救急箱		**その他：**	
飲料水		**その他：**	
食料		**その他：**	
ヘルメット		**その他：**	

○出勤･帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	
在宅時	
その他	

【事業継続フェーズ】（目安：初動対応完了後～）

○重要業務継続の具体的方法（誰がどのように行うか細かく決めておきましょう。）

対応手順	担当者

BCP策定後の運用	日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。 また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。

パンフレットや様式は農林水産省ＨＰからダウンロードできます▶https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html